

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公開番号】特開2014-240709(P2014-240709A)

【公開日】平成26年12月25日(2014.12.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-071

【出願番号】特願2013-122432(P2013-122432)

【国際特許分類】

F 2 5 D 23/08 (2006.01)

F 2 5 D 23/06 (2006.01)

【F I】

F 2 5 D 23/08 Q

F 2 5 D 23/08 R

F 2 5 D 23/06 W

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内箱と外箱によって形成される背面壁部、側面壁部、底面壁部、及び天井壁部からなる断熱箱体の内部に前面開口部を有した複数の貯蔵室を形成し、少なくとも 2 つの前記貯蔵室の間に前記側面壁部に結合された中仕切壁部を設けて両貯蔵室の間を断熱すると共に、前記前面開口部を開閉する開閉扉を備えた冷蔵庫において、

前記中仕切壁部の前記前面開口部側の内部に断熱材を設け、前記断熱材の端面付近に前記中仕切壁部に硬質ウレタンフォーム原料が流入するウレタン流入口を配置し、前記断熱箱体の前記側面壁部に配置した真空断熱材と対向する前記断熱材の端面に前記中仕切壁部の奥側に向かって傾斜する誘導傾斜部を形成したことを特徴とする冷蔵庫。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の冷蔵庫において、

前記ウレタン流入口の開口縁の一辺は、前記真空断熱材の前記前面開口部側の端面に対して前記前面開口部側に寄せられていることを特徴とする冷蔵庫。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の冷蔵庫において、

前記誘導傾斜部の始端は、前記真空断熱材の前記前面開口部側の端面に対して前記前面開口部側に寄せられていることを特徴とする冷蔵庫。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の冷蔵庫において、

前記中仕切壁部に設けられた前記断熱材は発泡ポリスチレンであり、前記ウレタン流入口の開口縁の一辺は前記真空断熱材の前記前面開口部側の端面に対して前記前面開口部側に寄せられ、更に、前記誘導傾斜部の始端は前記ウレタン流入口の前記開口縁の一辺から前記中仕切壁部の奥側に向かって傾斜していることを特徴とする冷蔵庫。